



UNIVERSITY OF CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS  
International General Certificate of Secondary Education

CANDIDATE  
NAME

CENTRE  
NUMBER

--	--	--	--	--

CANDIDATE  
NUMBER

--	--	--	--

\* 7 5 8 8 4 4 1 5 0 1 \*

**JAPANESE**

**0519/02**

Paper 2 Reading and Directed Writing

**October/November 2008**

**1 hour 30 minutes**

Candidates answer on the Question Paper.

No Additional Materials are required.

**READ THESE INSTRUCTIONS FIRST**

Write your Centre number, candidate number and name on all the work you hand in.

Write in dark blue or black pen.

Do not use staples, paper clips, highlighters, glue or correction fluid.

**DO NOT WRITE IN ANY BARCODES**

Answer **all** questions in **Section 1**, **Section 2** and **Section 3**.

At the end of the examination, fasten all your work securely together.

The number of marks is given in brackets [ ] at the end of each question or part question.

For Examiner's Use	
<b>Section 1</b>	
<b>Section 2</b>	
<b>Section 3</b>	
<b>Total</b>	

This document consists of **12** printed pages and **4** blank pages.





## SECTION ONE

For  
Examiner's  
Use

## もんだい 1

ただし いたえを 一つ えらんで、□の中に ○を 書いてください。

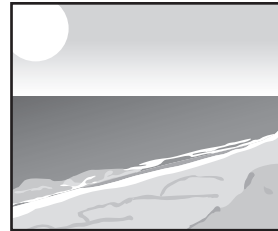
1 どこに 行きますか。

A  やま

B  かわ

C  うみ

D  もり



[1]

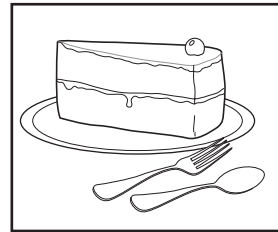
2 何を 食べますか。

A  ケーキ

B  サラダ

C  トースト

D  パン



[1]

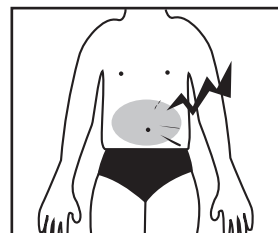
3 どこが いたいですか。

A  あたま

B  のど

C  おなか

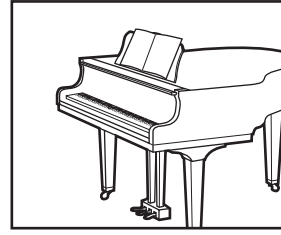
D  あし



[1]

4 何を かいますか。

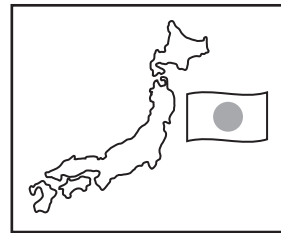
- A**  ギター
- B**  ピアノ
- C**  バイオリン
- D**  ラジオ



[1]

5 どこから 来ましたか。

- A**  ドイツ
- B**  中国
- C**  イギリス
- D**  日本



[1]



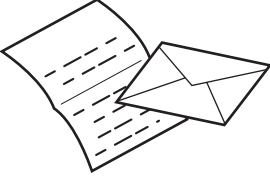
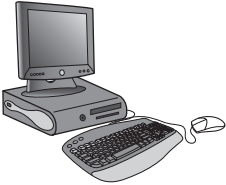



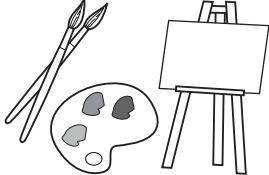
[Total: 5]

For  
Examiner's  
Use

## もんだい 2

下の えを見て、 正しい ぶんには ○、 間違っている ぶんには ×を ( )の  
中に 書いてください。

For  
Examiner's  
Use

	たろうくん	あいこさん	ジョンくん
月			
火			
水			
木			
金			

- 6 ( ) たろうくんとジョンくんは 月よう日に サッカーを します。
- 7 ( ) 三人は ぜんぜん およぎません。
- 8 ( ) ジョンくんは えを かきますが、たろうくんとあいこさんは かきません。
- 9 ( ) たろうくんとあいこさんは 金よう日 いそがしくありません。
- 10 ( ) たろうくんは 火よう日に コンピュータを します。

[Total: 5]

## もんだい 3

つぎの こうこくを 読んで、 下の しつもんを 日本ごで こたえてください。

For  
Examiner's  
Use

日本レストランで アルバイトを しませんか。

- ※ 高校生・大学生だけ
- ※ 五時から 十一時まで 週三かい  
(よる 十時から 十一時は、男だけ)
- ※ 一時かん：九百五十円
- ※ ばんごはんを とても 安く 食べることが できますよ!
- ※ 十二月三日までに 山田まで でん話を してください。

11 どんな 人が このアルバイトが できますか。

..... [1]

12 女の子の アルバイトは 何時から 何時まで ですか。

..... [1]

13 アルバイトの お金は 一時かん いくら ですか。

..... [1]

14 このレストランで アルバイトをすると 何が いいですか。

..... [1]


15 だれと 話さなければなりませんか。

..... [1]

[Total: 5]

## もんだい 4

- 16 先月 えんそくに 行きました。  
どこに 行きましたか。  
どんな てんき でしたか。  
何を しましたか。  
友だちに はがきを 書いてください。

東京都千代田区本町 1-2-3

\_\_\_\_\_ さん \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

[5]

For  
Examiner's  
Use

## SECTION TWO

## もんだい 1

つぎの テキストを 読んで、 下の しつもん に 日本ごで こたえてください。

わたしは、小学生のとき 本が あまり 好きではありませんでした。 いつも そとで あそんでいました。 やきゅうを したり 友だちと 木に のぼったり 川で およいだり いつも くらくなるまで そとに いました。

でも、わたしは 高校生の 姉に 本を もらいました。 その 本は と書かんの 本でした。 わたしの ちは あまり お金が ありませんでしたから、姉は わたしの ために と書かんから 本を かりました。

あまり 読みたくありませんでしたが、その 本は とても おもしろかったので、すぐに ぜんぶ 読みました。 海についての 話でした。

そして、その本は えいがに なりました。 えいがを 見たとき、本と えいがは おなじだったので、ほんとうに おどろきました。

それから、わたしは 本が 大好きに なりました。 毎月 五、六さつ 読んでいます。

17 この人は、小学生のとき 何が 好きではありませんでしたか。

..... [1]

18 この人は、小学生のとき どんな ことを していましたか。

(i)..... [1]

(ii)..... [1]

(iii)..... [1]

19 だれが この人に 本を あげましたか。

..... [1]

20 どうして、この人の お姉さんは と書かんから 本を かりましたか。

..... [1]

21 どうして、この人は お姉さんからの 本を すぐ ぜんぶ 読みましたか。

..... [1]

22 どんな 本でしたか。

..... [1]

23 この人は、えいがを 見たとき、どう おもいましたか。

..... [1]

24 この人は、毎月 どのくらい 本を 読んでいますか。

..... [1]

[Total: 10]



もんだい 2

25 あなたは 学校で 新しい クラブを つくりたいです。 学校に  
手がみを 書いてください。

- どんな クラブが つくりたいですか。
- どんな クラブかつどうを しますか。(2つ 書いてください。)
- どうして つくりたいですか。(2つ 書いてください。)
- いつ そのクラブかつどうを しますか。
- 何人ぐらい 来ると おもいますか。

げんこうよろしに 200字ぐらいで 書いてください。


## SECTION THREE

For  
Examiner's  
Use

## もんだい 1

つぎの テキストを 読んで、 下の しつもんを 日本ごで こたえてください。

わたしの 名前は マックスで カナダで 生まれました。 今は、日本の 高校で えいごを おしえています。

十四年前に カナダから 日本へ 来てから、 小学生から 大学生まで (子どもから 大人まで) いろいろな 人に えいごを おしえました。きょうか書も つくったことがあります。

いろいろな 年の 子どもを おしえたことは、 わたしにとって とても おもしろかったです。 小学生から 大学生までの えいごの ならいかたを 見て、 べんきょうになりました。 カナダの 子どもの がい国ごの ならいかたと とても ちがいます。

えいごを ならうためには わかりたい、 しりたい、 話したいと おもうことは さいしょの ステップです。 小学生が えいごを べんきょうするとき、 大せつな ことは 聞いたり、話したり すること からです。だから、 きょうしつ の 中で すわって えいごを べんきょうする より ゲームなどで あそびながら えいごを つかった ほうが いいです。

じ分の 国の ことばを べんきょうすることも がい国ごを べんきょうすることも おなじです。 ことばの べんきょうは いろいろな ところで できます。 だから お父さんや お母さんは 子どもに たくさん 話したり 本を 読んだり してください。

26 マックスさんは 何人 ですか。

..... [1]

27 マックスさんは 日本で 何を していますか。

..... [1]

28 マックスさんは 日本へ 来てから どんなことを しましたか。

(i)..... [1]

(ii)..... [1]

29 どうして マックスさんは いろいろな 年の 日本の 子どもを おしえたことは おもしろかったと いますか。

.....  
..... [2]

30 どんな 子どもが はやく えいごを 上手に 話しますか。

..... [1]

31 小学生が えいごを べんきょうするとき、 大せつな ことは 何ですか。

..... [1]

32 小学生は どうやって えいごを べんきょうすると いいですか。

..... [1]

33 マックスさんは 子どもの ことばの べんきょうの ために お父さんたちや  
お母さんたちは 何を したほうが いいと いていますか。

..... [1]

[Total: 10]

**もんだい 2**

つぎの テキストを よんで、 下の しつもん に 日本語で こたえてください。

まりもセンターは しぜんが ある とても きれいで ひろい こうえん です。 日本の ほっ海ど  
うの しれとこに あります。

二十年前に このセンターを たくさんの 人に してほしいと おもって、 ボランティアの 人た  
ちが 「たいけん (いろいろな ことを見たり、 聞いたり、 じ分で してみる) プログラム」  
を はじめました。

毎年 日本中から たくさんの 人が まりもセンターに 来ます。 しれとこを りょ行している 人  
たちに しぜんに ついて もっと してほしい ために 二つの たいけんプログラムを つくりまし  
た。

一つ目は しれとこや しぜんを よく 知っている 大学の 先生たちや しれとこに ながく すん  
でいる 人たちが 話します。 テーマは しぜんと しれとこの きせつです。 いっしょに まりも  
センターの 中を あるきながら せつめいを 聞きますから とても わかりやすい プログラムです。

二つ目は あまり 時かんが ない 人たちの ために レクチャールームで 三十分の みじかい 話  
をする プログラムです。 しれとこの しぜんや きれいな ところについて スライドを見せ  
ながら せつめいします。

しゃしんを とったり きれいな ところを あるくだけではなく しれとこの しぜんに ついて な  
らうことができる この たいけんプログラムは 今 とても 人きが あります。

**34** しれとこセンターは どんな ところ ですか。

..... [1]

**35** どうして ボランティアの 人たちは 「たいけんプログラム」を つくりましたか。

..... [1]

**36** その 「たいけんプログラム」に ついて せつめい してください。

.....  
..... [2]

**37** どんな 人の ために 「たいけんプログラム」は できましたか。

.....  
..... [2]

38 一つ目の プログラムに ついて せつめい してください。

.....  
..... [2]

39 一つ目の プログラムと 二つ目の プログラムの ちがう ところは 何ですか。

..... [1]

40 どうして この 「たいけんプログラム」は 人きが ありますか。

..... [1]

[Total: 10]





**BLANK PAGE**

---

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

University of Cambridge International Examinations is part of the Cambridge Assessment Group. Cambridge Assessment is the brand name of University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES), which is itself a department of the University of Cambridge.